

# 久里浜地域運営協議会第 30 回定例会

## (平成 29 年度第2回)

日時：平成 29 年 7 月 18 日 (火)

18 時 30 分～20 時 30 分

久里浜行政センター 第 1 会議室

委員出席者：小川会長、加藤副会長、森下副会長、白井副会長、  
中井理事、村松監事、吉川監事、鮎澤会計、  
橋本委員、梶ヶ谷委員、関島委員、桐生委員、島内委員

地域コミュニティ支援課出席者：中島係長、永易担当

道路建設課：小又課長、桑原係長

市街地整備景観課：首藤課長、水津課長補佐、境係長

事務局出席者：山口館長、今場副館長、今泉

オブザーバー：(株)GNF-J 梁井様

欠席者：山田理事、北村委員

### 1 あいさつ

#### 山口館長あいさつ

平成 29 年度第 2 回定例会を始めます。

#### 小川会長あいさつ

皆さんこんばんは。皆さんにご協力いただき、久里浜最大のイベント「久里浜ペリー祭」が無事終了しました。ありがとうございました。

本日は、J R久里浜駅周辺地域の土地利用方針案等について、市街地整備景観課のほうから説明をいただきたいと思います。

また、各専門部会については予算等の問題も含めた検討をしていきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

## 2 議 題

### (1) J R久里浜駅周辺地域の土地利用方針案等について

#### 市街地整備景観課課長より

「J R久里浜駅周辺地域の土地利用方針案」、「京急久里浜駅周辺地区市街地総合再生計画」の2点について説明させていただきます。

(市街地整備景観課 境)

まず始めに「J R久里浜駅周辺地域の土地利用方針案」について説明させていただきます。

平成27年度に国、J R東日本、横須賀市の三者で土地利用に関する意見交換を実施しました。国やJ R東日本が所有するあまり使われていない土地を一体的に土地利用することで、付加価値の高い土地利用ができるのではないかとということで、問題意識を共有してまいりました。今後の議題のたたき台として、横須賀市より、地域における土地利用の将来像を策定するという経緯となっています。

#### J R久里浜駅周地域の現状と課題

1. J R久里浜駅をはさむ東西方向への動線が分断されていること。

2. J R久里浜駅及び京急久里浜駅の間近な場所で非常に利便性の高い立地にも関わらず使われていない。横須賀市都市計画マスタープランにある拠点市街地としての機能が果たせていないこと。
3. 京急久里浜駅周辺に所在する既存の商店街と連携すること。
4. 八幡第一踏切によって早朝、夜間、久里浜田浦線が遮断されていること。一回の遮断時間がおよそ5分～7分で地域の皆様に負担をかけていること。

### 上位計画・関連計画における位置づけ

横須賀市都市計画マスタープランでは、当該地域を久里浜地区の拠点市街地として位置づけ、国有地を活かした一体的な有効活用によって都市機能を強化する計画的なまちづくりを進めています。

### 土地利用方針案の検討

上位計画・関連計画の位置づけや久里浜駅周辺地区の現状と課題、土地を所有する地権者や地域住民の意向などを踏まえ、「生活拠点」と「交流拠点」の2つの視点から土地利用を検討しています。

### 土地利用方針案の策定

土地利用が可能な範囲を2つ想定しています。

1つ目は八幡第一踏切の廃止を想定し引込線を移設するほかは、鉄道用地を現状とする「現状案」。

2つ目は「現状案」に加えて、訓練線の移設を想定して、その跡地も活用する「整備案」。

八幡第一踏切の廃止や、引込線の移設等については、J R東日本と意見交換を行ってきましたが、横須賀市として独自に想定を行ったものとなっております。

「生活拠点」「交流拠点」それぞれの方向性について、「現状案」「整備案」というところから土地利用の検討を行い、合計4案の土地利用方針案を策定し

ました。J R久里浜駅の東西アクセスを向上させるための歩行者動線、J R久里浜駅西側の交通事情、警察署の移転等が盛り込まれています。

#### ①生活拠点重視型現状案

定住人口の増加を図るため、J R久里浜駅西側と北側に居住ゾーンを配置。

#### ②生活拠点重視型整備案

J R久里浜駅西側には、大規模施設の立地も可能な医療・福祉ゾーンを配置し、生活サービス機能の充実を図る。

J R久里浜駅の改札を南側に移設し、京急久里浜駅とのスムーズな乗り換えを図る。

引込線跡地を道路敷きとすることで、西側からのアクセスを改善。

#### ③交流拠点重視型現状案

居住ゾーンだけではなく、多世代が交流・活動できる交流ゾーンを配置。

#### ④交流拠点重視型整備案

J R久里浜駅西側に集客・にぎわいゾーンを配置。

今年度においては本案に基づき、前年度に引き続き国やJ R東日本等の地権者と意見交換を行い、整備の事業化に向けて解決すべき課題について共通認識を深めていきたいと考えています。

なお、J R久里浜駅前の今は花が植えられている三角地の整備については、この方針案を見据えて考えていきたいと思えます。

(委員)

西口栄通りの一方通行の歩道拡幅に関してはどうなっていますか。

(道路建設課 小又課長)

西口栄通りについては、この土地利用方針案を見据えながら一緒に考えていきます。

(委員)

土地利用方針案がまとまらないと西口栄通りも計画が進まないということですか。全部がまとまらないと手をつけないということですか。

(道路建設課 小又課長)

そうではなくて、J R東日本と横須賀市の進捗状況を説明しますと、三角地を含めた駅前広場について、J R東日本との境界も定かではなく、昨年立ち合いを行い、確定図面を作成しました。引き続きその図面に基づき協定案を作成中です。今後は土地利用計画と並行するかたちでJ R東日本と三角地を含めて、横須賀市との管理協定の方は進めていきたいと考えています。

(委員)

ではなぜ西口栄通りがこの方針案に入っていないのですか。

(道路建設課 小又課長)

廃線になるところを道路とする考えもあり、2本の道路を整備することが事業的に難しいからです。

(委員)

西口栄通りの道路整備とそれとを一緒に考えていくというのはおかしいと思います。西口の拡幅は5、6年前から言っているのに、この方針案ができたので整備計画が頓挫しています。西口栄通りの一方通行の歩道拡幅はなぜ整備案に入らないのですか。

(道路建設課 小又課長)

整備計画と一緒に考えるということです。整備計画案と道路の計画があり、その動向をみて、今すぐかかるというのではなく、整備計画と一緒に考えていきたいということです。

(委員)

整備案に西口栄通りも計画の対象として色が塗られているといいのですが、他に道路ができるといけないから整備しようとも思っていないと感じてしまうわけですよ。整備するなら西口栄通りも色を塗ってほしいと考えます。

(委員)

歩車道の段差が1番の問題です。人身事故が起きてもおかしくなく、早急に改善しないと非常に危ない状況です。

(委員)

これまで何十時間と話し合ってきたのに、整備案にも入っていないのはおかしいと思います。地域運営協議会に市議会議員を入れないと、チェック機構がないとだめだと思います。整備計画案を出してもらえなければ納得できかねます。

(委員)

西口栄通りについては具体性のある案を次回までに示してください。

(事務局)

次回、示していただくということよろしいですか。

(全員了承)

(市街地整備景観課 水津)

続いて、京急久里浜駅周辺地区市街地総合再生計画について

この計画を作ることにより、市街地再開発事業、主に土地の共同利用がやりやすくなります。国の交付金を入れ、共同化事業が進めやすくなります。再開発事業の下地となる計画を作らせていただいています。

(委員)

計画を策定していることについて該当する地域住民との話し合いは怎么样了か。

(市街地整備景観課 水津)

商店会、協同組合と話しをさせていただいているなかで、今後、具体的な交渉になっていくかと思えます。

(委員)

第IV街区は一番早くに手掛けるのではないかと、では、どのような形で整備するのが一番よいかと勉強会を行っています。

## (2) 各専門部会報告

### 防災・防犯専門部会 (中井部会長)

- ・各小学校、中学校における避難所運営訓練を平成 29 年の暮れから平成 30 年にかけて順次行っていきます。
- ・訓練の内容について、今年度は、参加した人が誰でもリーダーを務められるという訓練に具体的に取りかかりたい。参加者の中から各班長を決め、訓練を行う方向を強くだしていきたい。
- ・非常時に車で避難してくる方について、基本的に学校の校庭には入れないというのが横須賀市の方針だが、全国で起こっているいろいろなことを鑑

みると、そういう訳にもいかないのではないかと、横須賀市と具体的に検討をすすめている段階です。

- ・ 連合町内会管外視察研修として、富士市の防災部の方々と話しをしてきた。非常によい研修となりました。
- ・ 「久里浜 安全・あんしんのつどい」を平成 29 年 9 月 30 日(土)に実施したいと考えています。

## **歴史と文化専門部会**

### **久里浜の文化を考える会（小川部会長）**

- ・ 10 月 16 日から 20 日まで湘南信用金庫の 4 階にて久里浜の写真展を開催したいと思います。久里浜の歴史を系統的に見て、郷土に自信を持っていただき、次の世代に久里浜のよさを伝えていただけたらと思います。

### **黒船吹奏楽団（村松監事）**

- ・ 楽器体験教室を 3 回実施し、小学生約 10 名が参加。
- ・ 今後も継続していき、11 月の食の祭典ではミニコンサートをやりたいと考えています。

## **中学生の居場所専門部会（臼井部会長）**

- ・ 6 月まで毎週水曜日、16 時 30 分～18 時 30 分まで「遊びの場」として提供してきましたが、今まで一人の参加もありません。
- ・ 7 月から中学生 3 年生を対象とした「学習支援の場」として毎週土曜日、13 時～15 時開設に変更しました。
- ・ 6 月 8 日、福祉部を訪問し意見を伺ったところ、「遊びの場」か「学習支援の場」か、コンセプトをしっかりとしないと失敗するとのこと。



- ・他の地区では学習指導は市が市の予算でNPO法人に委託し、軽食支援とセットで実施しているとのこと。
- ・久里浜地区でも市へ要請するのがよいのではないか。ただし、学習指導と軽食支援のセットが市の方針であり、久里浜地区で軽食支援ができるか否かがかぎとなるとのこと。
- ・軽食支援ができることを今年の秋までに示してもらえたら、久里浜地区を来年度の優先地区として検討してもらえるとのこと。
- ・軽食支援には年間 25 万円位の費用が必要となります。
- ・軽食支援が課せられた問題ではないかと思います。

(委員)

- ・各会の年間の予算の中から出し合えば、25 万円は捻出できるのではないですか。

(臼井部会長)

- ・各専門部会で検討していただいた結果を次回、ご報告していただけたらと思います。

### **(3) 交付金の交付事務について(地域コミュニティ支援課中島係長)**

平成 29 年度から「地域支援交付金」が新設されました。一運営協議会あたりへの交付金額の上限が 100 万円。9 月 30 日までに申請していただくと、地域コミュニティ支援課のほうで審査をさせていただき、審査がとおりますと来年度の交付となります。要望がありましたら 9 月 30 日までに、地域コミュニティ支援課に申請してください。

(事務局)

- ・次回までに検討、提案してください。

### 3 その他

(委員)

- ・行政と我々との折衝。地域運営協議会には行政管内の市議会議員にオブザーバーとして同席してもらうことが必要と考えます。
- ・久里浜ペリー祭当日は学校の登校日でした。久里浜全体のお祭りなのに地域の子ども達が午前中、登校しているというのはどうでしょうか。開国バザールはまったく賑わいがありませんでした。来年度はカリキュラムを考える必要があるのではないかと思います。

**次回は平成 29 年9月 19 日(火)**

**午後 6 時 30 分～**

**久里浜コミュニティセンター 第 1 会議室**